



# 南町小だより

つよく かしく あたたかく

平成28年 1月 8日

校長 福田 俊彦

## 夢と希望が輝く

校長 福田 俊彦

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

昨年は、多くの面で本校の教育活動へのご理解とご支援をいただきました。誠にありがとうございました。本年も皆様のお力添えのもと「みんなの子供をみんなで育てる学校」として教育活動を進めて参ります。引き続き宜しく申し上げます。

さて、昨年末、日本の女子サッカー界を牽引し、多くの功績を残すとともに、後輩の目標となり、夢と希望を追いかけた澤穂希さんが現役を引退するというニュースに接しました。私には、平成23年のサッカー女子ワールドカップのことが蘇ってきました。最後まで諦めずボールを追う姿。仲間に声をかける姿。喜びを分かち合う笑顔。そして、支えてくれた方々への感謝の言葉。ひとつひとつの姿に、言葉に重みを感じた方は多くいたのではないのでしょうか。澤さんの座右の銘「夢は見るものではなく叶えるもの」があります。この言葉に勇気づけられ、努力を重ね、多くの人々に感動を送り届けた澤さんに感謝です。

子供たちとの会話の中で、夢や希望の話聞くことがあります。その内容は様々です。直前に迫っていることから、将来に関することまで。できるかどうかは分からないことでも、何となく思っていることでも、子供にとっては大切な夢であり、希望であることを感じます。そのことが土台となり、成長過程における様々な経験を通して、より具体的になっていくことと思います。ここで大事なことは、まずは夢や希望をもつことでしょうか。澤さんが話しているように「夢は叶えるもの」です。

以前のことですが、ある子供から聞いた話です。

ぼくは、将来大学を出て小学校の先生になり、自分のクラスをもつことが夢です。そして、校長先生が話す「自分の命は自分で守る」ということと、友達を大切にすることをお伝えしたいです。

また、算数をごんばって教えたいです。理由は、算数にはすばらしいことがたくさんあるからです。例えば、算数は答えが一つでも、答えの出し方には何通りもあるからです。あと、スポーツが好きで、スポーツが得意な先生にもなりたいです。

このような先生になるため、小学校、中学校、高校でいろいろなことを学び、大学に進んでさらにたくさんのお話を学びたいと思っています。

この子供は、日々の学校、家庭、地域での生活体験を通して自分の夢をもつことができたのでしょう。この夢をもつまでにいろいろなことを考えたことなのでしょう。体験を通して、考えをより具体的にしつつあったのでしょう。

学習に、生活に、スポーツに、友達との関わりに、将来の職業に、子供たちの夢や希望は広がっています。夢や希望をもつことは、生活を充実、向上させるエネルギーになります。友達との夢、希望を知り、励まし合うことは、更なる成長へとつながります。南町小学校の子供たちが、自分を見つめ、夢や希望を秘めている姿に接することは、私たち教職員に勇気を届けてくれます。南町小学校の子供が、夢や希望を抱き、前進していくことを期待しています。保護者、地域の皆様には、夢や希望を抱く子供たちにご支援をいただければ幸いです。